



感激したWTA校での出会い

初日の LI 校での入学式に続いて、4月10日（土）に初めて WTA 校に足を踏み入れました。ゆったりした敷地と駐車スペースの広さが印象的でした。この日はそれまで続いた暖かさとは打って変わって、とても寒い一日でした。前田教頭が教室表示をつけて回るのに合わせて校舎内を案内してもらったのですが、中央に階段スペースやトイレがあり、しかも左右対称に作られているので、迷子になりそうでした。教室の数やその他必要な部屋が十分にあり、屋内の倉庫も使わせてもらっているのは、とてもありがたいことだと感じました。

朝の子どもたちの登校の様子や、教室での授業の様子を見るのをとても楽しみにしていました。当日は、幼初等部と中高等部双方の保護者会役員の方々との顔合わせやその後の広報部の方のインタビューがあり、中々教室に行けませんでした。それでも3時間目の途中から駆け足で全ての教室を回らせていただきました。これまでの経験でも、幼児部の年長さんから高等部の2年生までと、これほどまでに年齢差のある子どもたちといっぺんに出会ったことはありませんでした。初等部3年生あたりからのしっかりした児童の様子や中高等部の少し大人びた子どもたちまで、その成長の過程をたどるかのようなそんな思いに駆られました。新鮮な出会いに感激しました。

それぞれ授業の最中におじゃましたので、いろいろな場面に遭遇しました。新しい校長として挨拶すると子どもたちの明るい笑顔に接することができ、次第に自分の気持ちが高揚していくのが分かるほどでした。中にはそっと小さなお花を私に差し出す子もいました。きっと春を見つけに外に出たときに気に入って持ってきたのでしょう、、、。感激しました。あるクラスでは教室に入っていくなり、歌を歌ってというので勘弁してね、というのでみんなで数の歌を歌ってくれました。とても元気をもらった気がしました。また、私が子どもたちの写真を撮ろうとすると、担任の先生の呼びかけで、せっかく校長先生がこられたのだから、みんなも指を使って校長先生の写真を撮りましょうと、こちらに指で作ったカメラを向けてくれました。心の中にどう写るのかは、これからの私の仕事ぶりで決まるのだと肝に銘じたところです。思いがけなくいい記念撮影になりました。ありがとうございました。



みんなのカメラにはどんな校長に写るかな？（初1－4） 願いいたします。



数の歌を大きな声で歌ってくれました（初4－3）

緊張と興奮の中、保護者の皆様とも登校時やカフェテリアでお会いしました。いよいよこれで関係者の方々との対面を済ませ、私のニューヨーク補習授業校での仕事が始まりました。自分の良さは誠実なところだと自負しています。自分に正直に何事にも「臆せず、驕らず、侮らず」に取り組んでいきたいと思っています。保護者の皆様のご支援がなければ為し得ないこともたくさんありそうです。どうぞご支援をよろしくお